

作成日 : 2014年 7月 9日

改訂日 : 2023年 3月28日 (第3版)

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	バイオシュートEX
製品コード	EZX0
供給者の会社名称	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都千代田区神田練堀町3番地
担当部門	安全環境・品質保証室
電話番号	03-6867-8313
FAX 番号	03-6867-8329
緊急連絡電話番号	03-6867-8313
推奨用途	緑化資材
使用上の制限	緑化資材以外の使用は不可
整理番号	1308-02

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理的及び化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	分類できない
急性毒性：経皮	分類できない
急性毒性：吸入（気体）	区分に該当しない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	分類できない

急性毒性：吸入（ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

警告

強い眼刺激

注意書き 安全対策

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

取扱い後、手、顔、眼をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護手袋/保護面を着用すること。

粉じん/煙/蒸気の吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

—

廃棄

内容物/容器を法/条例に従って安全に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

バチルス菌生芽胞製剤 (5×10^9 cfu/g)

成分及び含有量（含有率）

成分① バチルス菌生芽胞： 45 %

成分② 鉍物質微粉、界面活性剤等： 55 %

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、眼科医の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること

5. 火災時の措置

適切な消火剤	噴霧水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤等
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等が含まれる。
特有の消火方法	消火のための放水により、消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないように適切な措置を行うこと。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護衣、保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用し、風上から消火活動を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理作業には、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。回収が終わるまで十分な換気を行うこと。
環境に対する注意事項	漏出した物質が河川、湖沼、海域等に流入しないように注意すること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	本剤が床面などにこぼれた場合は、直ちに掃き取り、空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	設備の密閉化、局所排気装置や全体の換気設備を設けることが望ましい。
安全取扱い注意事項	容器の破損や容器からの漏洩に注意すること。 みだりに粉じんを発生させないこと。
接触回避	情報なし
衛生対策	吸い込んだり、皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業すること。 取扱い後は、手、顔、眼等を良く洗い、うがいをする。
保管	

安全な保管条件	適当な換気のある乾燥した冷暗所に、容器を密閉して保管すること。
安全な容器包装材料	飲食品や飼料と区別し保管すること。 防湿できる容器包装材料
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	
許容濃度	日本産業衛生学会で未設定
設備対策	粉じんが作業場の空気を汚染しないように、設備の密閉化、局所排気装置の設置・使用、又は全体の換気を適正に行うこと。 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服（長袖、長ズボン）、保護長靴
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	水和性粉末
色	類白色
臭い	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
pH	4.0 (20.0 g/80 ml 水溶液)
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	0.29（見かけ比重）
粒子特性	情報なし
10. 安定性及び反応性	
反応性	通常の手扱いでは反応性なし。
化学的安定性	通常の手扱いでは安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫酸化合物等が含まれる。
11. 有害性情報	
急性毒性 経口 LD ₅₀	>生菌数10 ⁸ CFU/匹、感染性・病原性なし（雌雄ラット） （GHSの分類基準に合致しないので、分類できない）
経皮 LD ₅₀	>生菌数10 ¹⁰ CFU/匹、感染性・病原性なし（雌雄ウサギ） （GHSの分類基準に合致しないので、分類できない）
吸入 LC ₅₀	情報不足（分類できない）
皮膚腐食性/刺激性	刺激性あり（ウサギ） （GHS分類基準以下であり、区分に該当しない）

眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	刺激性あり（ウサギ）（区分2A）
呼吸器感受性	情報なし（分類できない）
皮膚感受性	陽性（モルモット）（区分1）
生殖細胞変異原性	情報不足（分類できない）
発がん性	情報不足（分類できない）
生殖毒性	情報不足（分類できない）
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	情報不足（分類できない）
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	情報不足（分類できない）
誤えん有害性	情報なし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

<製品> 水生環境有害性 短期（急性）及び長期（慢性）：情報なし（分類できない）

<成分① バチルス菌生芽胞>

魚類：	コイ	30日間	LC ₅₀	>2.3×10 ⁷ CFU/mL
甲殻類：	オオミジンコ	21日間	EC ₅₀	>2.3×10 ⁵ CFU/mL
藻類：	緑藻	72時間	ErC ₅₀	情報なし

<成分② 鉱物質微粉及び界面活性剤> 情報なし

残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし（分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
 空容器、空袋、汚染容器等： 内容物を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
 これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	国連の基準で評価して危険物に該当しない。
海洋汚染物質	該当しない
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	容器が破損しないように、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。
国内規制	
陸上輸送	規制されていない。
海上輸送	非危険物
航空輸送	非危険物

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	第一種・第二種指定化学物質に該当しない
労働安全衛生法	該当しない
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない

消防法

消防法危険物に該当しない

16. その他の情報

参考文献、資料等： ー

記載内容の取扱い：

- ・ 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- ・ 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- ・ 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。